

# 会 長 就 任 の 弁



会 長 井 田 圓 之

昭和58年5月下旬、佐賀銀行の会長の香月義人大先輩が、古賀武夫君を滞同して、お出になった。お恥ずかしい話だが、同君の極めてユニークな、もっともひたむきな、国際活動については、私は殆ど知らなかったのである。

「地球市民の会設立趣意書」案なるものを一読して、私は唖った。

「如何ですか。」

「文句のつけようがありません。全くこの通りです。」

「本来なら、私か、佐大の山川学長あたりが引き受けるべき所だが、余りにも忙し過ぎるので、是非あなたが引き受けて下さい。」

と云った会話に始まって、やり取り数次、遂に意を決せざるを得なくなってしまった。

それ以来、副会長候補の永倉眞一郎佐電工社長と古賀君と三人で、県内の主だった方々や、報道機関廻りが始まった。また、会則や事業についての話し合いを重ね、香月さんを

初め、熱意をお持ちの皆様方の御意見を伺いながら準備を進め、7月3日、盛大な設立総会を開いて、スタートを切る事が出来たのである。

「国際感覚」は単なる知識だけでは、養われるものではない。実際に外国を訪れ、外国の方々に来ていただき、お互いに交流する中から、その国の文化と、国民性を体得しての相互理解の上に芽生えるものである。

お互いの立場と考え方を確認し合って、両立の途を見出して、共に発展して行きたいと云う切なる願いがそこに在るのである。

「発展途上県」と称される、佐賀県の皆さんが、おおらかに、豊かな国際感覚を身につけて、物事を考え、実行して行かれる日の一日も早からん事を願って、この会を発展させたいのである。巾広く、数多くの皆様方の、御参加、御支援を心からお願い申し上げる、所以である。

〔溝田工業(株)取締役会長〕